

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 太陽工機

コード番号 6164 URL <http://www.taiyokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家及びアナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,050	△26.8	48	△84.6	25	△91.1	7	△97.2
25年3月期第2四半期	2,799	15.7	311	79.4	291	93.9	263	79.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.51	2.50
25年3月期第2四半期	90.60	90.23

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
26年3月期第2四半期	3,649		2,389		65.1
25年3月期	3,706		2,405		64.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,377百万円 25年3月期 2,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△17.0	240	△65.2	200	△69.2	100	△87.0	34.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	2,978,200 株	25年3月期	2,978,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	46,615 株	25年3月期	55,215 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	2,929,281 株	25年3月期2Q	2,908,905 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 ・当社は、平成25年10月30日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策への期待により円安株高が進行し、景気回復の兆しが見られております。

工作機械業界においては、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(平成25年1月1日から9月30日)が前年同期比で14.9%減少いたしました。外需はアメリカの自動車関連や航空機関連が堅調に推移し、内需においても、自動車関連、航空・造船、工作機械関連企業を中心に受注状況は好転しつつあります。

こうした状況下において当社は、本社工場を利用したプライベートショーや中国国際工作機械見本市(CIMT2013)、グループ企業主催の展示会に出展し、国内外のユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズを積極的に掘り起こすことで、確実に受注につなげてまいりました。

これにより、受注状況は内需外需ともに徐々に増加してきており、需要回復の兆しが見えてまいりました。国内においては、自動車部品関連企業からの複数台受注の獲得や一般産業機械関連企業の堅調な需要の取り込みに成功し、海外においては、アメリカを始め中国、欧州等の幅広い地域の現地ユーザーからの新規受注を獲得しております。

製品面では、新小型立形研削盤SVG-3/3Tを発表し、また汎用立形研削盤Vertical Mateシリーズの拡充に向け開発を進めており、当社製品のさらなる成長を図っております。

当第2四半期累計期間の受注高は2,281,917千円(前年同期比22.3%減)となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は1,704,647千円(前年同期比17.3%減)、横形研削盤は390,212千円(前年同期比2.3%増)、その他専用研削盤は187,057千円(前年同期比62.2%減)となりました。

生産高は1,884,697千円(前年同期比25.0%減)となりました。うち立形研削盤は1,375,079千円(前年同期比33.2%減)、横形研削盤は187,292千円(前年同期比45.5%減)、その他専用研削盤は322,326千円(前年同期比188.0%増)となりました。

売上高につきましては2,050,612千円(前年同期比26.8%減)となりました。品目別に示すと、立形研削盤は1,494,094千円(前年同期比32.7%減)、横形研削盤は216,019千円(前年同期比51.9%減)、その他専用研削盤は340,499千円(前年同期比157.9%増)となりました。

損益につきましては、営業利益48,004千円(前年同期比84.6%減)、経常利益25,839千円(前年同期比91.1%減)、四半期純利益7,347千円(前年同期比97.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて41,223千円減少し、2,325,847千円となりました。これは主に現金及び預金が180,716千円、売掛金が17,856千円、繰延税金資産が10,306千円減少したこと、仕掛品が141,011千円、原材料及び貯蔵品が10,924千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて15,872千円減少し、1,323,897千円となりました。これは主に有形固定資産が19,316千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて10,394千円減少し、475,430千円となりました。これは主に買掛金が11,242千円、未払法人税等が32,459千円、製品保証引当金が13,887千円、役員賞与引当金が10,973千円減少したこと、短期借入金が100,000千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて30,348千円減少し、785,313千円となりました。これは主にリース債務が27,935千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて16,352千円減少し、2,389,000千円となりました。これは主に利益剰余金が21,882千円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べて180,716千円減少し、115,322千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は212,458千円の減少(前年同期は33,307千円の増加)となりました。これは主に役員賞与引当金の減少10,973千円、製品保証引当金の減少13,887千円、たな卸資産の増加162,276千円、仕入債務の減少11,242千円、未収消費税等の増加8,935千円、未払消費税等の減少48,324千円、利息の支払16,175千円、法人税等の支払39,847千円の資金減少要因と、税引前四半期純利益25,839千円の計上、減価償却費49,715千円、売上債権の減少17,856千円、未払費用の増加1,411千円の資金増加要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は17,075千円の減少(前年同期は18,049千円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得10,846千円の資金減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は48,817千円の増加(前年同期は123,644千円の減少)となりました。これは主に短期借入金の増加100,000千円の資金増加要因と、リース債務の返済27,582千円、配当金の支払29,129千円の資金減少要因によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の事業環境は、国内においては自動車部品関連企業を中心に、引合い及び受注状況は回復傾向にあり、海外においてはアメリカを始め中国、欧州等の幅広い地域からの需要獲得に成功しておりますが、本格的な需要回復にはなお時間を要しております。

こうした状況に鑑みて、平成26年3月期通期の業績予想につきましては、下方修正を行っております。なお、詳細につきましては、本日発表の「平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	296,039	115,322
売掛金	1,000,572	982,715
仕掛品	727,129	868,141
原材料及び貯蔵品	174,331	185,256
繰延税金資産	160,779	150,472
その他	9,219	24,939
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,367,070	2,325,847
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	793,901	771,591
土地	354,269	354,269
その他(純額)	142,469	145,461
有形固定資産合計	1,290,639	1,271,323
無形固定資産		
投資その他の資産	6,646	4,787
繰延税金資産	5,741	5,059
その他	36,741	42,726
投資その他の資産合計	42,482	47,786
固定資産合計	1,339,769	1,323,897
資産合計	3,706,840	3,649,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,013	143,770
短期借入金	—	100,000
未払法人税等	43,761	11,302
製品保証引当金	45,324	31,437
役員賞与引当金	18,289	7,315
その他	223,436	181,604
流動負債合計	485,825	475,430
固定負債		
リース債務	768,449	740,514
その他	47,211	44,798
固定負債合計	815,661	785,313
負債合計	1,301,486	1,260,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	470,126	471,856
利益剰余金	1,266,363	1,244,481
自己株式	△46,548	△39,298
株主資本合計	2,390,270	2,377,367
新株予約権	15,083	11,633
純資産合計	2,405,353	2,389,000
負債純資産合計	3,706,840	3,649,744

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,799,747	2,050,612
売上原価	1,992,879	1,452,206
売上総利益	806,867	598,406
販売費及び一般管理費	495,194	550,402
営業利益	311,673	48,004
営業外収益		
受取利息	46	41
受取手数料	791	764
受取保険金	3,077	—
その他	2,136	735
営業外収益合計	6,051	1,541
営業外費用		
支払利息	18,587	16,127
売上割引	2,630	1,408
支払手数料	582	516
その他	4,142	5,653
営業外費用合計	25,944	23,706
経常利益	291,779	25,839
特別損失		
退職給付費用	8,271	—
特別損失合計	8,271	—
税引前四半期純利益	283,508	25,839
法人税、住民税及び事業税	19,959	7,504
法人税等調整額	—	10,988
法人税等合計	19,959	18,492
四半期純利益	263,549	7,347

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	283,508	25,839
減価償却費	45,368	49,715
受取利息	△46	△41
支払利息	18,587	16,127
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△88,461	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,771	△10,973
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△21,208	△13,887
売上債権の増減額(△は増加)	△114,534	17,856
たな卸資産の増減額(△は増加)	△157,416	△162,276
仕入債務の増減額(△は減少)	6,228	△11,242
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△8,935
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,366	△48,324
未払金の増減額(△は減少)	120,618	977
未払費用の増減額(△は減少)	△3,705	1,411
その他	△2,328	△12,723
小計	58,474	△156,475
利息の受取額	46	41
利息の支払額	△18,614	△16,175
法人税等の支払額	△6,598	△39,847
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,307	△212,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,941	△10,846
無形固定資産の取得による支出	△3,540	△312
貸付金の回収による収入	127	67
その他	△6,695	△5,985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,049	△17,075
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70,000	100,000
自己株式の処分による収入	1,286	5,529
リース債務の返済による支出	△25,968	△27,582
配当金の支払額	△28,962	△29,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,644	48,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△108,386	△180,716
現金及び現金同等物の期首残高	197,798	296,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,411	115,322

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。